

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の対象の 理解	保育の心理学 I	成田 小百合	1年次	春

授業のキーワード	子ども 心理的特性 発達
授業の概要	保育の心理学 I は、子どもの発達にかかわる知識、保育実践にかかわる心理学の知識について、発達のプロセスの習得する。各テーマについて、先行研究を基にした知見を根拠にして理解する。
期待される学習成果（目標）	心理学は占いと異なり、観察や実験等研究が基になっている科学である。データに基づいた科学的根拠から子どもの発達の姿を理解する姿勢を身につける効果が期待できる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	保育の心理学とは？	子どもの発達を理解することの意義、個人差、偏り	第9講	他者との関わり	仲間関係、模倣、インターナル・ワーキングモデル、自己主張、自己抑制
第2講	保育実践の評価と心理学	保育実践の評価をめぐる問題、発達の最近接領域、PDCAサイクル	第10講	社会的相互作用	ヴィゴツキー、ピアジェ
第3講	保育と子どもの発達	発達観、発達曲線、発達段階、発達課題、心理社会的危機	第11講	生涯発達と発達援助	エリクソン、生涯発達
第4講	感情の発達と自我	微笑、自我の芽生え	第12講	胎児期と新生児期の発達	胎児期の発達、原始反射
第5講	身体機能と運動機能の発達	子どもの運動発達、ピアジェ	第13講	乳児期の発達	子どもに発達に応じた保育援助
第6講	知覚と認知の発達	選好注視、表象機能、心の理論	第14講	学童期から青年期の発達	移行、社会化、個性化、思春期、ギャンググループ
第7講	ことばの発達と社会性	コミュニケーションのはじまり、ことばを獲得する道筋	第15講	成人期、老年期の発達	ライフコースとワークライフバランス、伝統的性役割観、
第8講	基本的信頼感の獲得	人見知り、アタッチメント、ストレンジ・シチュエーション法	定期試験		子どもの発達に関わる基本的な知識に問う記述式試験を実施する。
評価方法		定期試験 70% 授業貢献度 30%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
「子どもとかかわる人のための心理学—発達心理学、保育心理学への扉」萌文書林			杉村伸一郎・坂田陽子編「実験で学ぶ発達心理学」		